

眠っているふりをする者たち

【訳者注】ここに書かれていること、特にアメリカの歴史について——アメリカ史は完全に書き直されねばならぬとよく言われる——拒絶反応を示す人たちは、日本人の中にも多いと思われる。そういう人たちに、いきなり宗旨替えせよというのは現実的でない。ただ、そのようなことを言う人があれば、そのような仮説を立てて、初めから考え直してみるべきである。そのような仮説そのものが許されないという態度は、取るべきではない。それでは人間は進歩しない（インテリジェント・デザイン仮説に対する態度がその好例である）。現実を見るのが怖いために「眠ったふり」をして一生を過ごし、「ああ幸せな人生だった、私の勝利だった」と言える人は、よほどおめでたい人である。これはあの世に持っていけない。

By John R. Hall

July 10, 2015 (Information Clearing House)

最近、私が祖国と呼ぶ、地球のこの人々の愚かさ加減には、私はほとんど愛想が尽きて、物を書くことがほとんどできなくなった。先日ここに投稿されたアンドレ・ヴルチェックの論文「アメリカでは私は書けない」(In the USA—I Cannot Write)は慰めになった。私は一人ではなかった。この獣のお腹の中で、銃を構えて旗を振りながら国内外を徘徊する同胞のゾンビー・ファシストたちと共に、私は恐怖のない嫌悪を感じながら日々を過ごしている。恐怖のない、と言ったのは、3分の2世紀をここに住んでみて、私は、鉛をいっぱい撃ち込まれ長い苦痛を伴う死や、忌まわしいターミナル・ケース以外には、恐れるものがほとんどないからである。真実を言う者にはめったに友人がいない。それを伝える者は、生命や手足を奪われる覚悟、少なくとも、この偉大な国を去れという勧告を含めた、厳しい悪口を覚悟しなければならない。アメリカに神の祝福あれ。

ナヴァホ一族には、「眠ったふりをしているにすぎない者を起こすことはできない」という意味の諺がある。これは、この帝国に住んでいる者たちの大多数を、かなりうまく要約している。

私事ながら昔の話をしよう。1952年クリスマス・イブ、ネブラスカ州フレモントにて——母は私に、私の寝室の明かりを消す前に「クリスマス前夜」の話を読んでくれた。私の最初の記憶の一つであり、私の真理探究の始まりとなったものである。「さあ、サンタクロースが来られるように、もうお休み。彼の妖精たちがお前をじっと見ているよ。」何と恐ろしい！

私の部屋に妖精だと？　しかしそうした興奮とは全く別に、何かが間違っていた。4歳の私でも、大きさとか範囲とか、地上の物事の仕組みについて、ある程度わかりかけていた。大きな都市があり、沢山の国があることを私は知っていた。何千、何百万という子供がいるのに、この人口1万5000ほどの町だけでも、サンタクロースが一晩で面倒を見るには大きすぎる。たとえ夜が長くてもだ。ママは嘘をついていた。しかしなぜだろう？

私にとって幸運なことに、ママとパパは強く無神論に傾いていたから、私は組織された宗教の、さまざまの煙や鏡にさらされることはなかった。そして父は第二次大戦で戦い、マッカーサー元帥の太平洋名誉親衛隊に入っていたが、彼は決してレッドカードも、白や青のカードも切ることはなかった。最も忘れたがっていた彼の人生のその時期を、彼は決して語らなかった。また在外退役軍人の会にも参加せず、戦争記念の帽子をも決して被らなかった。決して私を軍隊に加わるように勧めて、自慢の種にしようとはしなかった。そこで私が青年となり、嘘による親の教育を卒業すると、友達の間で私は特別の立場を占めた。私は子供時代の嘘に代わる新しい大人の嘘を信じなかった。私は自由に探求し自分で決断するようになった。これは両親が私に与えてくれた最大の贈り物——かつ最大の重荷だった。

そこで1970年が、米軍への徴兵通知とともにやってきたとき、私はすでにベトナム戦争は、間違っただけで指導された、狂気じみたパーティーであって、参加するつもりはないと心に決めていた。友人の大半は、アンクル・サムのを売り歩く“蛇の油”を買い、さらに儀式の一步を進んで、東南アジアのホロコーストに参加した。私の将来の計画には、企業利益のために戦争に参加することは含まれていなかったのだから、私は徴兵を拒否した。地方徴兵委員会は、私の徴兵拒否の理由がわからなかったらしく、一年後に再び私は、アンクル・サムに中指をさす挨拶をせざるをえなくなった。この問題についてどんな数字も調べたことはないが、私は2度に及んで米軍への徴兵を拒否した唯一のアメリカ人かもしれない。私はもう一度でもそうするだろう。最初の判決は **Lompoc** 連邦刑務所での禁固9か月だったが、私の弁護士が控訴し、私はある地方病院で“代替任務”を2年間果たすことになった。

私のアメリカ人に対する評価はこうである——彼らは眠ったふりをしている。真理がその醜い頭をもたげようとする度ごとに、彼らは目をつぶり、いびきをかいて涎を垂らし始める。彼らは、素早い目の動き（REM睡眠）をしてみせることさえできる。彼らは真理には興味がないが、それは彼らが嘘の人生を、全く快適に生きているからである。Tooth Fairy や Easter Bunny や、サンタクロースが、大人の嘘に入れ替わっただけだ。彼らは“ファンタジー・ランド”、“ザ・マトリックス”、“トワイライト・ゾーン”住んでいて、カーテンの後ろにいる男を指摘する者には、嘲笑を浴びせる。彼らの現実、テレビ番組、企業ニュース報道、プロスポーツの現実である。彼らは資本主義を、たとえ彼らが失業しても、彼らの子供が投獄されても、銀行が彼らの家の抵当権を失効させても、心の底から信じている。彼ら

は、たとえ残りの世界が“アメリカに死を！”と叫んでも、“American Exceptionalism”（例外主義、特権的免責思想）を信奉している。

アメリカ人たちは、彼らの建国の父たちが、イギリスの海賊的なやり方に基づいて、彼ら自身の詐欺行為を働くために、イギリスから袂を分かってやってきたにすぎない、奴隷をもつ富裕な実業家であったことを知ろうとしない。彼らには、トマス・ジェファソンが奴隷を持っていただけでなく、彼自身の奴隷繁殖農場で、一番のセックスの強い男だったことは言わない方がよい。彼らにはまた、エイブ・リンカンが奴隷を解放することに興味などなかったこと、南北戦争は、南部が不公平な関税と考えたもののために戦われたこと、奴隷解放宣言は、奴隷たちを勇気づけて **The Union**（米国）のために戦わせるのが目的だったこと、などは言わない方がよい。彼らには、「大アメリカン・ホロコースト」のこと、何千万というネイティブ・アメリカンが、その食料であった膨大な数のバイソンと共に、無残に殺されたことは言わない方がよい。

アメリカ人たちは、彼らの祖国の歴史におけるすべての戦争が、貪欲のために戦われたことを知ろうとしない。ヒトラーは、もしアメリカの銀行が彼の戦争機械を財政支援しなかったら、フォードや他のアメリカ企業がその装備を供給せず、**IBM** が彼の“労働キャンプ”を組織しなかったなら、決してあのように強大になることはなかった。「労働が人を自由にする」（強制収容所の標語）のではないか？ ルーズベルトは真珠湾攻撃を予想し、それがやってくることを知っていた。トルーマンは、日本が追い詰められて降伏を望んでいることを完全に知りながら、広島と長崎に原爆を落とす。朝鮮やベトナム戦争の背後にある、見苦しい歴史について、彼らに語らぬ方がよい。あの何百万という罪のない米作農夫たちや、何千というアメリカの息子たちは、ウォール街のために死んだのだということを、彼らに語るな。オズワルドが、ジョン・ケネディの処刑に何の関係もなかったことさえ、口にしてはならない。ボビー・ケネディや、ジョン・ケネディ・ジュニア、またマーティン・ルーサー・キング、マルコム X、それにポール・ウェルストーンは、アメリカの戦争計画に協力することを拒否したために殺された。こう言えばもういびきが聞こえてくる。

アメリカ人は、2001年の9・11攻撃の公的な政府説明が、おそらく“不思議の国のアリス”以来最大のおとぎ話であることを、認めたがらない。彼らには、9・11から2か月後に、オサマ・ビン・ラディンが死んだとパキスタンで広く報じられたことは、言わない方がよい。また、アメリカがファシスト帝国だなどと囁いてはならない——たとえ半分でも目を開けていれば、あらゆるレベルで企業が政府を所有し、ムッソリーニその人の定義した通り、ファシズムが国家と企業権力の融合であることが明らかであっても。ほとんどのアメリカ人は、自分たちの国が一つの帝国であることさえ理解していない。ちょっと考えてみればわかるのに。

私は統計にはうんざりしている。アメリカの街路で、毎年、いったい何人の無実の人々が殺されているか？ あまりにも多くの、というのが答えである。オバマは、彼の好きな無人機を使って、何人の人を結婚式や葬式や運動場で嗅ぎ付けたのか？ 最初のブッシュが最初の使用済みウランを落として以来、イラクやアフガニスタンで何人の人々が死んだのか？ 自分の家族を養うという最高の罪を犯したために、逮捕され投獄されるのを避けようとして、ラテンアメリカから逃げ出した人々が、何人、西南砂漠で死んだのか？ これも、あまりにも多くの人々だ。我々のネオ奴隷制度のもとで、刑務所で一生涯働いている黒人や褐色人種は、どれだけいるのか？ そのほとんどは貧困からくる犯罪によるもので、アメリカの企業の札束を太らせるための収監である。正当な経済システムならば犯されることのなかった犯罪だ。

9人の黒人が最近、あるサウスカロライナの教会で殺され、いま米国会議事堂から米国旗を引き下ろせという叫びが、眠れる大衆から起こってきた。この国旗は、憎しみ、暴力、人種差別を象徴するものだと言われ、彼らは正しい。が、相変わらず彼らは星条旗に対する忠誠を誓っている。彼らは国家が演奏されると、直立不動の姿勢を取り、歌い手がロケットや爆弾を称えようと涙を浮かべる。それは、第二次大戦が終わって以来、ただ幸福を求める4千万から5千万の普通の人々を殺戮するのに、この帝国が用いた同じロケットと爆弾である。しかし私のあげる死者数は本当のものではない。軍は、死んだ敵の数をかぞえず、先にも言ったように、私はいずれにせよ統計には飽き飽きしている。殺人が大量虐殺になるのはどこからか？ ジェノサイド（民族抹殺）が成立するためには、どれくらいの死体が必要なのか？ ホロコーストは？ ホロコーストについてはどうなのか？

私はおそらく、ほとんどの眠れるアメリカ人が、差し迫った資本主義と帝国の崩壊過程を通じて、眠り続けるだろうと思う。もちろんこの終末が、正確にどのようにして、いつ起こるのかは誰にもわからない。しかし何らかのやり方でそれは必ず起る。核の冬？ 単純な世界経済の崩壊？ 地球規模の気象災害？ 私は子供のときの母の嘘を許す。同じ嘘を私は娘に語った。もう一度それをやれと言われたら、私はサンタのことを正直に言いたい。もう嘘はやめにしよう。